

オウル大学（フィンランド）

レポートやテストが一段落着いたところで、今までの留学生生活を振り返ってみました。交換留学から帰ってきた先輩と交流する中で、留学に行ったら徐々に英語を喋れるようになるだろうと漠然と思っていました。しかし、そうではないということに気が付きました。一人でいる時間をいかに英語の勉強に費やすか、またどれだけ失敗を恐れないで挑戦できるかがカギを握っていると感じるようになりました。正直、約2ヶ月を通してなるべく多くの時間を友達と過ごしていたのに、スピーキングとリスニングが伸びていない理由はそこにあったのではないかと気づかされました。これに早く気が付くことが出来て、とても良かったと思っていますが、ヨーロッパ訛りにはまだ苦戦をしていて、また思っていることを瞬時に言えない苦痛がまだ自分の中にとても強く残っています。しかし、たまに瞬時に思っていることを言えたり、英語を英語で理解できている場面が増えていたり、少しずつ自分の成長を感じています。成長している部分にはさらに磨きをかけ、改善できる場所には出来るだけ早くプラスに持っていけるように、試行錯誤を怠らずにしていきたいです。また、生活に慣れたこともあってホームシックを感じる回数が9月に比べて多くなったと感じています。少しでも日本の方がいいと感じた場面や課題に追われている時に感じがちということに気が付きました。恋しいのはいいとして、フィンランドでの生活が残り8か月しか無いのだぞという気持ちで前向きに頑張りたいです。しかし、時間が解決してくれると思うので、そこまで心配せずに、自分を俯瞰していきたいです。

国立台湾科技大学（台湾）

10月は、Mid-termテストに向けて日々授業の復習をコツコツと頑張りました。科目によって復習のやり方を工夫し、ミッドタームのテストスタイルにあわせて勉強しました。例えばエッセイや自分の考えを発表するIntroduction to EducationやNews Englishの授業では、Discussionの内容や授業で提示された問に対して自分の考えをまとめておくようにしています。これからFinal Examまで（後期後半）は、プレゼンが増えていくそうなので、今までよりも勉強が忙しくなりそうです。

セントクラウド州立大学（アメリカ合衆国）

予習の際に教科書の内容をすべて読み込むのではなく、自分が大事だと思う部分や新しく学んだ部分などを拾い上げて読むというリーディング方法が身についてきたように思います。Midtermの課題があったため少し忙しい時期がありましたが、学んできたことを生かしているように思います。さらに、現在はTeaching ESL: Theory and Methodsの授業の一環で大学の日本語の授業でチューターをやっています。アメリカの大学生が日本語を学ぶ方法について知ることができるため、大変興味深いです。11月からは小学校に教育実習に行く予定もあるため、さらに新しいことを吸収できることを期待しています。

中東工科大学（トルコ）

中東工科大学のキャンパスは巨大かつ自然にあふれています。（もはや飲み込まれています）。寮から歩いて大学外に出るのに約40分かかくらい大きいので大学内をバスが走っています。大学内にスーパーや病院、レストラン、床屋さんまでそろっているので大学外にでることなく生活もできます。個人的に緑豊かで猫や鳥、犬などの動物もたくさん住んでいるので歩いているだけで癒されるキャンパスだと思っています。トルコにきてからよく歩くようになったので歩いてもあまり疲れなくなりました！

アメリカス・プエブラ大学（メキシコ）

学習状況について変わらず順調に勉強できていると感じています。毎月、月末にテスト週間があるので、そこに向けて日々勉強をしています。実技科目のCine Digitalという映画作りの授業は、制作の費用集めや撮影のスケジュールリング、キャスティング等始まりました。そのせいか、先月よりもばたついている感じがあります。初めての制作への関わりなので、技術面では無力ですが、ファンドレイジングなどに注力し、授業にどのように貢献できるのかということを考えながら参加しています。Clutura Mexicanaというスペイン語の授業は、先生に個人的にダメ出しをされる日々ですが、自身としては最初にメキシコに来た時よりも格段にスペイン語はできるようになっているので、めげずに取り組んでいます。

仁川大学校（韓国）

授業は教科書を用いて行われます。最初はわからない単語も多かったのですが、最近は知っている単語も増えてきました。教科書を読んでいるときに前よりも理解できるようになっていると、達成感があります。授業中には発言のタイミングがあるのですが、前よりも発言できるようになってきました。ただ、まだ躊躇してしまうときもあります。時間はあっという間に過ぎていき、のんびりしていたら留学はすぐに終わってしまうので、授業1回1回も大切に受けようと思います。

また、最近グループワークをする機会が多くありました。私は台湾人とタイ人の友達と一緒にグループなのですが、違う国の人たちと韓国語で話すのが不思議で楽しいです。みんな韓国語が完ぺきではないので意思疎通が難しい場面もあるのですが、頑張って伝えようとするのも楽しんでいます。

聴講している日本語の授業では、日本語について改めて考える機会になっています。母国語なので深く考えずに話していますが、外国人からすると難しいのだと感ずることがあります。日本語についても韓国語についても考えるいい機会になっています。また、この授業で仲のいい友達ができました。授業時間外にご飯に行ったりもしているので、今度はもっと友達を作るのが目標です。

マドリード・コンプルテンセ大学（スペイン）

YCUに交換留学で来ていたスペインの女の子たちに誘ってもらって日本×スペインの文化交流としてピクニックに参加しました。日本人はほんのわずかしかなかったのですが、日本に留学していた、日本語の勉強をしているといったスペインの子たちとお話をしました。今まで大学の留学生の人たちと関わってきましたが、スペインの子たちとコミュニケーションをとる機会は少なかったため分からない文法や単語を教えてもらったり、日本の話をスペイン語で話したりするのは新鮮で楽しく、今後も連絡を取り続けたいと思いました。

モントリオール大学（カナダ）

2か月間授業を受け、友達と交流しフランス語に触れてきたので、最初の頃よりは聞き取れるようになりましたが、まだまだ話せるレベルにありません。また、日本で学んできたフランス語とは違うケベックのフランス語の特徴もあり、学習が難しいです。しかし、モントリオールの人たちは優しく、特に大学生は英語も話せ、中には日本語を学習している人もいます。また、別の国や日本に留学した経験のあるモントリオールの学生は留学の大変さを知ってるからと言ってくれて、色々助けてくれます。言葉の壁はあるものの色々なバックグラウンドを持つ人と交流でき、毎日が楽しいです。